

## 次世代環境適合技術流体実験共用促進事業による体験学習会

### －誰でもできる簡単気流可視化テクニック－

#### 趣旨

東北大学流体科学研究所では、低乱風洞実験施設と衝撃波関連施設を企業の皆様にご利用頂いております。更に、試験に関わる技術的支援も無償で受けられる体制が整えられております。一方、試験には専門的知識と経験が必要なこともあり、企業の皆様が施設をご利用なさる際に、どの程度の試験になるのか想像し難く、施設利用の具体的メリットを理解し難いとの指摘もあります。そこで、施設を利用してみようとする際に、キーとなる試験方法、基本的な計測技術等を具体的に理解して頂く機会を提供することを目的として、年4回、体験学習会を企画しております。

今回は本年度3回目として、午後の1時間程度、低乱風洞実験施設で流れの可視化試験を実施致します。風洞施設を利用する場合の他、オフィスや工場の一隅で試験をすることも想定し、なるべく身近な機器を使った可視化テクニックについて実演する予定です。風洞施設利用に興味をお持ちの方々の他に、空気の流れを見てみたいとお考えの方々にも是非ご出席頂きたいと思っております。低乱風洞実験施設を利用して頂き、貴社の開発費抑制、開発スピードの更なる向上、新製品開発の実現等に貢献できればと願っております。

**開催日時：平成26年10月31日（金曜日）、午後2時から3時まで**

**開催場所：東北大学片平キャンパス、流体科学研究所 低乱風洞実験施設2階小型風洞実験室**  
**(次ページ地図参照)**

#### **題目：誰でもできる簡単気流可視化テクニック**

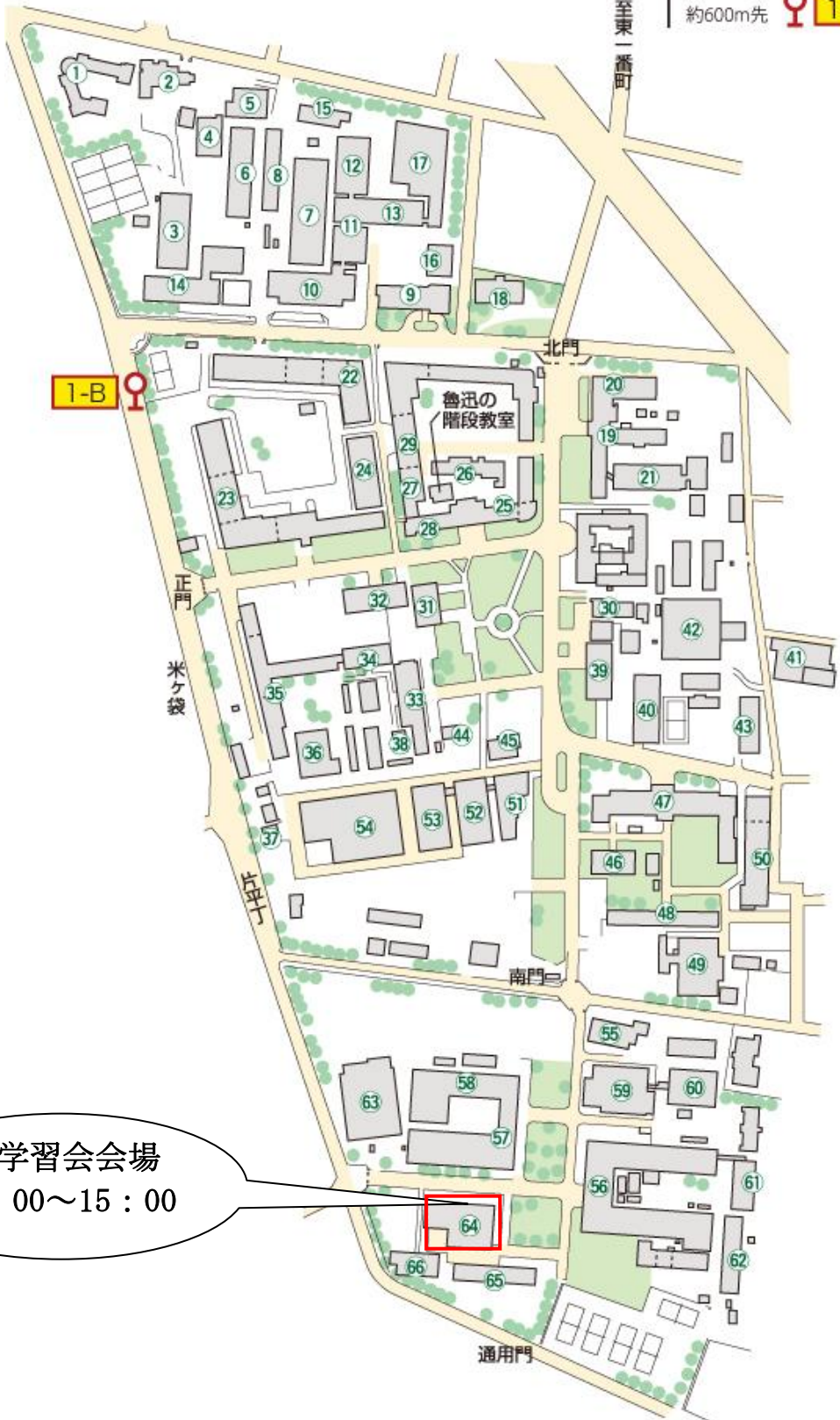
**内容：**様々な製品の開発では、風の制御が重要になる事がしばしば有ります。例えば、部屋の換気や扇風機の風の広がりなどは製品の良し悪しを決定する重要な要素でしょう。しかし、空気の流れは肌で感じられても目では見られません。換気量や風速は測れても、体全体で感じる空気の流れを知るには、流れを見る事が大切です。部屋全体の流れやその様子が判ると、もっと良い製品にするためのアイデアも湧くかもしれません。空気の流れを知るには専門的知識と高価な装置が必要と諦めていませんか？正確な流れを知る場合はその通りですが、良いアイデアを得るのに細かい測定結果が必要とは限りません。先ず、自社の製品の風がどうなっているのか、おおよその様子を見るだけでも、良いアイデアがきっと湧くことでしょう。今回は、理系出身の技術者だけではなく、製品利用者からの様々な評価を直接聞く機会の多い営業担当者の方でも自社でやれる可視化テクニックを紹介いたします。時間も実演45分程度と短いので、訪問先への移動の途中にでも、是非、お気軽にご参加ください。

**補足：**今回の可視化試験では本格的可視化例もご覧頂く予定で、レーザー光も使用します。この為、参加者全員分の保護メガネを準備する必要がありますので、出来るだけ事前参加登録をお願いします。学習会終了後には、具体的な利用方法に関しての個別相談にも対応する様にしております。複数の個別相談にスムーズに対応できるように、事前にご連絡頂けると、お待ちいただく時間も少なくできると思います

対象事業施設体験学習会場所：低乱風洞実験棟（No.64）

♀ ※停留所

至東一番町  
約600m先 ♀ 1-A



体験学習会会場  
14:00~15:00